



つながって、ささえあう小平へ

小平市議会議員 竹井ようこ 会派：フォーラム小平

竹井ようこ通信

◆ 3月定例会一般質問 ◆

■ 最も身近な基礎自治体として市民に寄り添う新型コロナ対策を

《市側答弁からわかったこと》

- ✓ 市内の医療機関では今のところ、「医療崩壊」という状況にはない。
- ✓ 介護者や独り親が陽性と診断された場合、要介護者は介護施設で受け入れる。子どもの入院が必要であれば親と同じ病院で入院させ、入院が不要の場合は保健所と児童相談所が連携し、一時保護等を行う。

《竹井ようこからの意見・要望》

- ✓ 感染者や陽性者の状況を把握し、寄り添った対応をするべき。
- ✓ PCR検査が必要となった場合、検査センターまでは、徒歩か自家用車など自力で移動することになっているが、他市の例にもならない、送迎を行ってはどうか。

【市側後日見解】

- 送迎可能な市内のタクシー事業者を確認した。健康センターに問い合わせがあれば、当該タクシー事業者を紹介する。
- ✓ 自宅療養する陽性者には、東京都から食料品の配送などが行われているが、時間を要していることから迅速なサポートをお願いしたい。

皆さまからいただいたお困りごと、ご意見・ご要望を市政に反映させるよう努めています。



3月定例会
一般質問動画配信中



■ 小・中学校の教材費等は現金徴収から脱却を

《市側答弁からわかったこと》

- ✓ 中学校では全校で銀行振替が行われているが、小学校では事務稼働の不足により19校中1校のみの実施にとどまっている。

《竹井ようこからの意見・要望》

- ✓ 紛失等の事故や、教師の負担感などデメリットが多い現金徴収をやめて、口座振替やキャッシュレスに移行するべき。
- ⇒ (市側答弁) 金融機関を利用した徴収や管理が望ましいと考える。引き続き研究する。
- ✓ 年間の徴収計画が示されていないため、改善すべき。
- ⇒ (市側答弁) 会計の透明性の確保、保護者の信頼を得るために計画を示すことは必要だと考えるので、保護者に周知を行うよう促す。

■ 視覚障害者等への意思疎通支援を拡充することについて

《竹井ようこからの意見》

- ✓ 視覚障害者の読み書き支援が不足している。Web会議など新しいニーズもあるため、読み書き支援員の育成も含め、行政による支援を拡充すべき。



小林洋子さんとともに「87の政策」実現を目指します！



コロナ禍において、自治体のリーダーには、科学的にリスク管理を行なうことはもちろん、①感染への恐怖や漠然とした不安という市民の痛みに想いを馳せ、寄り添い、励ます共感力、②困窮した市民にいち早く手を差し伸べる決断力と行動力、③自らが先頭に立ち、市民に情報発信するカーが求められます。市民の皆さんと一緒に作成した「87の政策」を、これら3つのチカラを備えた小林洋子さんとともに、政策実現に向けて前進します。

岡田しんぺいさんは若い世代の代表者！

岡田しんぺいさんは小平の緑と食を守る若き農業者です。都市農業は小平市の魅力の一つ。後継者不足等の課題解決に取り組み、地産地消をさらに促進します。コロナ禍を越えて、若者の生活と夢を支える若い世代の代表者です。(立憲民主党公認)



ニュース

来たる7月4日の東京都議会議員選挙に向け、「竹井ようこ」の立憲民主党公認が決定しました。



立憲民主党枝野幸男代表とともに

竹井ようこ プロフィール

1966年 1月28日 滋賀県生まれ 名古屋育ち
名古屋市立菊里高校、南山大学外国語学部英米科卒
1988年 4月 日本電信電話(株)入社
国際部などで業務経験を積む
1991年 4月 (株)情報通信総合研究所出向
Didier & Associates法律事務所(ベルギー)派遣
欧州各国での情報通信政策について調査・分析
1994年 6月～98年 9月 出産・育児のため休業等
職場復帰後は育児に仕事に多忙な日々を過ごす
1999年 7月 NTTコミュニケーションズ(株)
情報通信の最前線企画・法務等の業務に従事
2015年 4月 小平市議会議員選挙にて初当選
2019年 4月 同 2期目当選
【家族】 夫、長男、長女、柴犬(♀)
【住まい】 小平市仲町



http://takeiyoko.com/

https://www.facebook.com/takeiyo

@takeiyo

